



# 和敬会だより

第133号

発行所  
医療法人社団 和敬会  
谷野呉山病院  
富山市北代5200  
<http://www.wakeikai.com>

発行人  
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和2年12月1日

初任者研修『院長講演』の様子



## 医療法人和敬会

### 基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して私たちはあなたと共にある」

### 基本方針

- ・ 専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
  - ・ 常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
  - ・ 広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
  - ・ 精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
  - ・ 環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
  - ・ 精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
  - ・ 人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

職員募集専用サイト  
開設しました



# やっぱ!?! SDGs

理事長・院長 谷野 亮一郎



平素より皆様には当法人へのご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。突然ですが「SDGs」という言葉を聞いたことはあるでしょうか? SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略語で、「持続可能な開発目標」と訳されます。SDGsは二〇一五年九月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟一九三か国が二〇一六年から二〇三〇年の十五年間で達成するために掲げた目標です。気づいたら(?!?)あと十年です。

SDGsは十七の大きな目標と、それらを達成するための具体的な一六九のターゲットで構成されています。それらがどのようなものかは是非ご自身でチェックしてみてください。

先日、NHKで落合陽一さんと台湾のIT担当大臣オードリー・タンさんの対談番組を見て「IQ一八〇の人ってこんな感じなのね」と見入ってしまいました。その対談の中でも「SDGs」が登場しました。

イギリスの経済学者ケインズが一九三〇年に発表した論文『孫たちの経済的可能性』の中で、「このまま科学が進歩し労働効率が高まり続ければ、百年後労働の必要すらなくなる」と予言していることに対して、タンさんは「(一九三〇年から百年後の)二〇三〇年まであと「十年」猶予が残されている。SDGsの達成目標年でもある。ケインズはすばらしい予言を残した。「金儲け」と「価値ある仕事」は違う。SDGsの一六九のターゲットのうちGDPについての記載があるのは一つだけ。GDPに悩むのは一六九分の一の時間だけでいい。予言通り、お金のためだけに働く必要はなくなる。自分の心を満足させるために働く社会がやってくるだろう。今は苦しいこともあるが十年後、GDPは意味を失っているだろう。」と語っていました。

またタンさんは『東洋経済』のインタビューでも「SDGs」について触れています。インタビューは「教育」についてのものですが、その中でタンさんは「確かにSDGsは目標だけあって、それらの目標をどのように達成するかは明確に提示されていません。とはいえ、だからこそ意味があるともいえます。なぜなら解決しようとする過程においてこそ、イノベーションや発展が存在する余地が出てくるからです。」「目標はこう達成すべし、と指定されていたら、それはもはや目標ではありませんよね。決まった台本通りに進めればよいだけです。小さい子供を見ているとそうですね。ルールが厳密に決められているボードゲームには興味がなく、砂や粘土のように「こう使う」と決められていないものの方が最大限の創造力を発揮できます。SDGsもこれと同じようなことです。」と語っています。

IQ一八〇も注目するSDGs。あと十年です。「地球人」である個々が、そして個々が所属する組織が、新型コロナウイルスというスパイスが加わったSDGsを達成するために何ができるのか。自称E.Q.一八〇の私も考えてみようと思います。

## これからに期待! 初任者 研修会

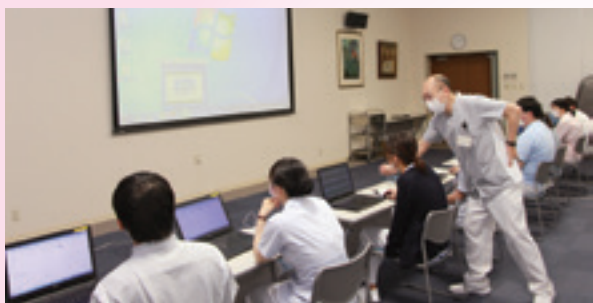
令和二年度はコロナ禍の影響により例年より一ヶ月遅れて、六月十五日(月)から六月二十六日(金)の十日間、初任者研修が行われました。新人職員の真剣な眼差しが印象的な十日間でした。



最終日のグループワークでは、活発な意見が交わされ、「色々な話を聞いて、具体的に自分がどうしなればならないかが分かった。」「十年後のなりたい自分が見えた。」などの感想が聞かれ、頼もしい限りでした。

ご多忙の中、講師を務めて下さった谷野理事長を始め、講師の皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げ、新人職員の更なる活躍に期待します。一緒に和敬会を盛り上げていきましょう!

人事課 野村つちぬ





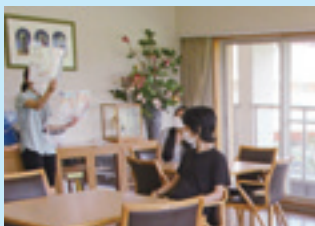
# 災害に備えるグループホームの取り組み

近年は豪雨による川の氾濫や土砂崩れ、地震も頻発していることから、グループホーム(生活訓練センター)、家路、なごみハイム、このみハイムでは七月から八月にかけて大規模災害についての勉強会を感染予防に配慮しながら行いました。

これまで火災のみで、地震や洪水、土砂災害等を実施していなかったので、まず非常持ち出し袋や富山市の地震・洪水・土砂災害のハザードマップの確認を行いました。また、身の安全を守る方法や避難の仕方、災害時の非常食についても学習しました。

入居者から、「自然災害の多い国なので、常日頃から防災について知っていると備えになる」「勉強になった」などの感想があり、今後は定期的な大規模災害についての勉強会を行い、みんなで防災意識を高めていきたいと思えます。

生活訓練センター  
グループホーム家路  
松田 和久



# 陶芸教室を再開しました



自粛していましたが、七月より活動を再開しました。現在はデイケア通所者を対象とし、縮小しての形ではありますが、職員が指導できる皿作りを中心に作品を作成しています。

今後は、以前のようにアドバイザーをお招きし、地域の方々にも参加していただき、交流を図れるようになっていきたいです。

生活支援センター 舟本 陽子

新型コロナウイルス

感染予防の観点から、

令和二年三月からふれ

あい陶芸工房の活動を

# 患者さまやご家族とのつながりを大事にしています

## 紹介リー メンタルケア 病棟



メンタルケア病棟では看護師、看護補助者が患者さまの受け持ちをすることで、チームとして協働し患者さまに安全で安心な療養生活を送っていただけたよう日々努力しています。日課として日常生活指導の他に、作業療法、嚥下体操やウォーキング、社会生活訓練、服薬指導、栄養指導をおこなっています。また、身体と心の健康を維持・増進できるよう、週に一回のレクリエーションや年に三度のお楽しみ会などを開催しています。

経験年数の浅いスタッフが多数の病棟ですが、その分コミュニケーションを取り、より良い看護が提供できるようお互いの研修会や勉強会を開催し刺激し合っています。また、みなとても元気がよくいきいきと働く事ができるようになっています。

私たちは患者さまとご家族をつなぐためのコミュニケーションを大事にしています。ご家族との連絡を密にし、療養生活の様子をお知らせしたり、今後について多職種と一緒に考え、より良い方向に進んでいけるよう努力して参ります。

病棟師長 長谷川 淳

法人の動き

月	日	事項
7	6	5
6	15	6
18	26	10
		26
		法人理事会
		職員総会
		初任者研修
		患者満足度調査

表彰

令和二年度 富山県医師会永年勤続医療従事者表彰 (十年勤続)  
 竹内 稔 (3A病棟 看護補助者)

資格取得

看護師免許  
 館盛 千花 (クライシスケア病棟)  
 准看護師免許  
 中田 亨 (メンタルケア病棟)  
 渡辺明日香 (クライシスケア病棟)

お知らせ

十月十七日開催のごぞんフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、院内のみで縮小しておこない、地域の皆さまへの呼びかけをおこなわず開催いたしました。詳しくは次号でお伝えいたします。

ユニフォームを一新しました

令和二年八月一日より、ユニフォームが新しくなりました。パンツは初めてネイビーも採用し、全体的に爽やかな印象のユニフォームです。

**看護師・准看護師** 上着は、襟のあるスクラップタイプです。色は赤系と青系の二色から、自分で選びました。清潔感と動きやすさで仕事がかさどるようになりました。

**看護補助者** 上着の色は男女共に一番人気のバーガンディになりました。これまでよりストレッチ性が高い素材で動きやすいユニフォームになりました。



看護師・准看護師

看護補助者

放射線技師



臨床検査技師

**放射線技師・臨床検査技師** 看護師・准看護師とデザインは同じですが、職種がわかりやすいようにターコイズブルーを選びました。一目で技師さんがかかる様になり声がかげやすくなりました。

**管理栄養士** 男性の管理栄養士の入職に伴い、これまでの薄いピンクからスカイブルーになりました。病棟でもすぐにわかり、栄養指導にもたくさん集まってもらえるようになりました。



管理栄養士

編集後記

十月一日より富山県でも精神障害者手帳一級所持者が医療費助成制度の対象となりました。全国でもかなり遅い方でした。六十五歳未満の手帳所持者の約四%にも満たない、少ない割合ですが、安心して医療を受けられる大きな一歩になることを期待しています。(樹)

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。